

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	タムラ製作所 入間・狭山事業所再建	階数	地上3F
建設地	埼玉県狭山市広瀬台二丁目591番	構造	S造
用途地域	工業専用	平均居住人員	60 人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年12月8日
敷地面積	48,820 m ²	作成者	
建築面積	3,645 m ²	確認日	2023年12月8日
延床面積	6,572 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 必要な機能をコンパクトに納め、環境負荷を抑えた建物を計画した。	その他 太陽光パネルを設置	
Q1 室内環境 Low-eガラス、ダブル折板、間仕切りにグラスウール充填などで断熱・遮音性能を確保した。	Q2 サービス性能 階高、天井高、積載荷重を十分確保した。	Q3 室外環境 (敷地内) 街並みに調和した建物ボリューム、外装デザインとした。
LR1 エネルギー 照明器具は全てLEDとした。	LR2 資源・マテリアル 内装材にリサイクル建材を採用した。	LR3 敷地外環境 建物を敷地境界から離して配置し、北側への日影を抑えた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 タムラ製作所 人間・狭山事業所再整備計画(製造棟)

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.1
Q1 室内環境							0.30		-	3.5
1 音環境						3.2	0.15		-	3.2
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40		-	
1.2 遮音						3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能						3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-		-	
1.3 吸音		天井:岩綿吸音板、床:タイルカーペット				4.0	0.20		-	
2 温熱環境						3.4	0.35		-	3.4
2.1 室温制御						3.8	0.50		-	
1 室温						3.0	0.38		-	
2 外皮性能		Low-eガラス、ALCt=100+LGS+石膏ボードt12.5、ダブル折板				5.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性		こまめなゾーン分け				4.0	0.38		-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20		-	
2.3 空調方式						3.0	0.30		-	
3 光・視環境						3.1	0.25		-	3.1
3.1 昼光利用						3.0	0.30		-	
1 昼光率						3.0	0.60		-	
2 方位別開口							-		-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策						3.0	0.30		-	
1 昼光制御						3.0	1.00		-	
3.3 照度		全般照明方式照度500~1000lx				4.0	0.15		-	
3.4 照明制御						3.0	0.25		-	
4 空気質環境						4.3	0.25		-	4.3
4.1 発生源対策						5.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		内装材は全てF☆☆☆☆を使用、低VOC建材を採用				5.0	1.00		-	
4.2 換気						3.3	0.30		-	
1 換気量		30m ³ /h・人以上確保				4.0	0.33		-	
2 自然換気性能						3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33		-	
4.3 運用管理						4.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		館内禁煙。喫煙室の設置				5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能						-	0.30		-	3.5
1 機能性						3.5	0.40		-	3.5
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性						3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画						3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性						4.3	0.30		-	
1 広さ感・景観		製造居室 天井高さ3m以上確保				5.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース		休憩室63m ²				5.0	0.33		-	
3 内装計画						3.0	0.33		-	
1.3 維持管理						3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		評価する取り組み7項目に該当(①②③④⑧⑩⑪)				4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						3.2	0.30		-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		管種のB以上選定				5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						3.4	0.20		-	
1 空調・換気設備		配管の耐震支持				4.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA				4.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.9	0.30		-	3.9
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上確保	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		5,000N/㎡以上	5.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40		-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.20		-	1.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 0.70	4.0	0.50		-	4.0
4 効率的運用			3.5	0.20		-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00		-	
4.1	モニタリング	部門ごとの消費電力量の提示	4.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	年間消費電力量の提示	3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1	モニタリング		3.0	-		-	
4.2	運用管理体制		3.0	-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水	節水コマに加えて、節水型便器使用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60		-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	岩綿吸音板、ビニル床シート	4.0	0.22		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材の採用	4.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20		-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別4項目以上使用	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	駐車場の増設	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	廃棄物置場320㎡	4.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33		-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.3	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		3.0	-		-	
3	日照阻害の抑制	北側への日影規制1ランク低減	4.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外サイン無し	5.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	タムラ製作所 入間・狭山事業所	BEE	1.2	BEEランク	★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.0	+	2.3	=	5.3	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			
太陽光発電設備を設置し、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			
空地率を大きくしたり、中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。			

: 入力欄